

2022 年度 藤枝学院高等専修学校
自己点検・評価項目および学校関係者評価報告書

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	特になし
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4		時代と共に変化してゆく生徒の特性を生かす評価方法をこれからも追及していく必要がある。	4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	4			4	

2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			4	様々な部分でデジタル化が進んでいるが、教材はアナログ部分を大切にしたいうえで考慮していく必要がある。
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4			4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	ICT化を進めるうえでどの部分をデジタル化して何をアナログのままを進めるのか区別が必要。実状に適したものを使用しているが、更なる研究と対応科目の増加も必要。Office365に対応した適切なテキストがない。	生徒の実情に合わせた学校独自の教材を充実させたが更なる改良が必要である。教材のデジタル化も検討が必要。	3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			4	
資格試験の合格率は	4	昨年度に比べ、取得率の向上並びに希望者受験の資格への取り組みが増えた。		4	
資格試験不合格者の対策は	3	放課後に研修会を設けているものの、自らの意志で学習する生徒を育成していくことが肝要。	継続的な指導よりも短期集中の指導方法が向いている生徒もいるため、短期集中による研修を充実させる。	3	
評価は適切な方法で行われているか	3	従来の成績評価に加え、新たに到達度を可視化した学習成果票を取り入れたが、達成度の算出方法が複雑すぎて教員への負担が非常に大きい。	負担軽減のためのプログラムを作成、実装。	3	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3	目標に到達していない生徒に対し、個々に対応するようにしているが、教員がついていないと学習できない生徒がいる。	自学自習できる生徒と教員がついての指導が必要な生徒とそれぞれに適切な対応をしていく。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			4	

3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	生徒募集のための資料の表現・内容については毎年見直しをしており特に問題はないが、募集活動の方法・時期については変化がみられる。	コロナ禍での募集活動では有るもののスポットで中学校の先生方に早い段階から情報を提供する。また生徒保護者主体になっている進路活動に対応することが急務。	3	中学校を通じて認知度を高めると同時に、在校生はもとより卒業生や保護者を通じた口コミによる認知活動も大切ではないか。
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4			4	
募集要項の内容は適切か	4			4	
学校見学会の時期、内容は適切か	4	※学校見学は随時受付		4	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4			4	
志願者状況、定員充足率はどうか	3	県からの学費補助制度が施行され入学者数は一頃に比べ改善傾向にある。今後は選ばれる学校としての魅力を打ち出す必要がある。支援を要する生徒の入学相談が増加傾向にある。	志願者数を増やすためには、まず在校生が生き生きと活動し、学校に対する満足度を上げる必要がある。即ちそれは口コミによる広報活動の拡充につながる。見学者数を増やすためには、中学校の先生方に対し、専修学校の教育について理解を深めてもらえるように定期的、継続的な募集活動を行う。	3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	3	友人関係や家庭環境による生活の不安定さから居場所に困り夜間外出に至るなどが見られた。どこまで家庭環境に踏み込むか難しいものがある。	個別相談や家庭や関係各所との連絡を行う。	3	

4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4			4	どこの学校でも苦勞しているようだが、人材確保には工夫が必要である。今後、新卒については大学現場の声を精査したうえで方法論を考える必要がある。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	制度上の問題はないものの、教員一人当たりの担当科目・時間数が多く負担が多い。	時間講師の人員増、担当時間数増を図る。	3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	4			4	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に実施しているか	4			4	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4			4	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	担当時間数が過大になっている。	非常勤講師の雇用を図る。	3	

5. 施設・設備等

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	使用はできているものの古くなっている備品については再確認が必要。特にコンピュータの教育に力点をおいている学校としては、使用できないではなく定期的に最新のものを導入することも検討したほうがよい。
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	
実習設備は整備されているか	3	生徒がパソコンを使って共有フォルダへ個人のデータを保管する形を整備したが、加えてネットリテラシー教育の充実を図る必要がある。	情報科目に留まらず、多方面からの教育を実施。	3	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			4	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	3	静かに過ごしたい生徒への対応も必要。	次年度、1階を大幅改装して教室を準備する。	3	
保健室は適切に整備されているか	4			4	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			4	
職員室の管理は適切に行われているか	4			4	
事務室の管理は適切に行われているか	2	事務員が2階にいる時間があるため来客への対応が遅れがちとなっている。その結果、事務室も雑然とした物置になっている。	1階を改装した際に改善する。	2	

6. 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	3	友人関係や家庭環境による生活の不安定さから居場所に困る生徒への対応。	今後も更なる工夫が必要。	3	行事活動が制限された中で各種行事が行われたのは良いと思う。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3			3	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7. 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4			4	危機管理については年々対応が複雑になっているので検討が必要。
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の状況について報告します。